



Jul. 2009

Hasebe Dental Clinic Newsletter

歯科材料のお話

Vol.1 /No.10・©

前月に続き今月も充填用コンポジットレジンについてお話します。コンポジットレジンの持つ長所と問題点について考え、その他の症例をお見せします。

充填用コンポジットレジンについて (2)

歯の色に近い合成樹脂の詰物です

前月に続き今月も充填用コンポジットレジンのお話をします。前月ではコンポジットレジンがどういう物か、どのように使用されるかについて説明し、奥歯の小さい窩洞に充填する方法についてお話しました。今月はコンポジットレジンの持つ問題点や他の症例についてお話をしてゆきます。コンポジットレジンとは、他の成形修復材と同じように、窩洞があまり大きくなく、強い咬合力が加わらない窩洞に充填する場合に適しています。機械的性質が銀や金などの歯科用合金やセラミックスと比べ劣るためです。耐摩耗性においては改善して欲しい点ですが、現在満足するコンポジットレジンはありません。このため、白歯部特に第一大臼歯や第二大臼歯の咬合面で、強い咬合力の加わる比較的大きな窩洞の充填には適していません。近年あまり使われなくなり、今年の5月号でお話した理由から当院では使用を控えているアマルガムではコンポジットレジンと比べ耐摩耗性があるため、その様な窩洞に充填しても5、6年で簡単に摩耗してしまうことはありません。コンポジットレジンではそのくらいの期間で摩耗する場面が多く見られ、それが原因で二次的な虫歯になったり、対合歯の挺出（飛び出すこと）の原因になり、咬合不正の一因になる場合が見られます。患者さんは誰でも簡単で安価で審美的な治療を好みますが、このような咬合力の強く加わる大きな窩洞にコンポジットレジンを使用する事は、当院ではおススメしません。このような窩洞には、保険治療がご希望であれば、銀合金の



写真1 術前



写真2 術中



写真3 術後

インレーを装着することをおすすめしています。もし、下顎の臼歯部咬合面など人目につきやすい部位に金属の詰物を充填する事を嫌う方には、保険対象外ですがセラミックスのインレーをおすすめしています。保険適用で歯の色に近い詰物を希望する患者さんについては、摩耗するという欠点を知って頂いた上で充填しますが、定期的に検診して摩耗の度合いをチェックしなければなりません。耐摩耗性があり良質なコンポジットレジンが製品化されて欲しいと思います。

コンポジットレジンが一番の長所は、歯の色に近い（歯冠色）充填が可能であること、そして歯型などを採らずに、場合によっては一日で虫歯の治療を簡単に終了できること。ケースによっては保険診療の対象になり、治療費を安くできること。適応症は、咬合力の強く加わらない比較的小さな窩洞への充填ですが、その代表的な窩洞への前月とは異なる充填症例を写真でお見せします。

写真は、Ⅲ級窩洞と呼ばれる前歯の隣接面（歯と歯の接触している面）の虫歯の治療にコンポジットレジンを使用した症例です。写真1が術前で

写真2が治療中、写真3が術後の物です。見て頂けるとわかると思いますが、とてもきれいに充填できており、詰めたとこが自分の歯のように見えます。このような症例にはコンポジットレジンの使用が適しています。

コンポジットレジンの持つ欠点は他にも考えられます。レジン自体の耐水性の問題や、歯とレジンとを接着する時に使用するボンディング剤の接着力のバラツキや経時的低下と、熱膨張係数が歯に近似していないことに伴う、変色や歯とレジン界面での二次的な虫歯の可能性などです。特にこの症例のように上顎前歯の人目につきやすい部分では、このような欠点から5～6年後に詰め替えを希望する患者さんもいます。ですから、虫歯を作らない予防が非常に重要で、もし虫歯になってもそれが小さければ、充填して変色してもわかりにくいわけです。 See you next month!



はせべ歯科

158-0091

世田谷区中町3-1-22-1F

TEL 03-5706-2500

www.hasebeshika.com
info@hasebeshika.com

発行者: 長谷部伸一 DDS,Ph.D